

P 30

コラーゲン配合カルシウム剤投与による、妊娠中に発症した骨盤痛（腰痛、股関節痛、鼠径部痛等）の改善効果について

恵寿総合病院 ○小濱 隆文

【目的】妊娠中に発症ないし著しく増強した、腰痛、股関節痛、鼠径部痛などのいわゆる妊娠性の骨盤痛を有する妊婦に対し、コラーゲン配合カルシウム剤（コラーゲン・ユニカル、ペガプロジェクト）を投与し、その改善の有無を経過観察した。また、対照群としてアスパラ-CA錠（L-アスパラギン酸カルシウム）を投与し、検討した。

【方法】当院で妊婦健診・出産のため受診している妊婦で、妊娠経過観察中に骨盤痛が出現あるいは著しい増強を認めたものに対し、コラーゲン・ユニカル一日3包（600mg）/日あるいはアスパラ-CA錠（L-アスパラギン酸カルシウム）3錠（600mg）/日を摂取させ、二週間後の改善を観察した。改善が認められたものに対しては、出産まで継続して摂取させた。

【結果】コラーゲン・ユニカル投与群の投与対象者は計42名で、平均年齢：29.2±3.9歳、総有効例32例（内やや有効2例）/42例（76.2%）であった。アスパラ-CA錠投与群の投与対象者は計25名で、平均年齢：28.9±4.9歳、総有効数12例（内やや有効2例）/25例（48%）であった。有効率は、コラーゲン・ユニカル投与群で有意に高かった（Chi-Square： $p < 0.05$ ）。妊娠・出産時における、これらカルシウム製剤の摂取によると思われる副作用は特に認められなかった。

【結論】コラーゲン配合カルシウム剤は、妊娠中、特に妊娠後期に発症ないし増強した骨盤痛に対し、通常のカルシウム製剤より有意な改善効果を有することが示唆された。